

宇治市健康づくり・食育推進計画 最終評価報告書

令和6年3月

宇 治 市

目 次

I. 「宇治市健康づくり・食育推進計画」最終評価

1. 最終評価の趣旨.....	1
2. 最終評価の方法.....	1
3. 市民アンケート調査.....	1
4. 目標項目の評価状況.....	2

II. 『第3章 健康づくりの推進』に係る評価

1. 妊娠出産期・乳幼児期（0～5 歳）	3
2. 少年期（6～15 歳）	5
3. 青年期（16～29 歳）	7
4. 壮年前期（30～44 歳）	9
5. 壮年後期（45～64 歳）	11
6. 高齢期（65 歳以上）	13

III. 『第4章 食育の推進』に係る評価

1. 妊娠出産期・乳幼児期（0～5 歳）	15
2. 少年期（6～15 歳）	15
3. 青年期（16～29 歳）	16
4. 壮年前期（30～44 歳）	16
5. 壮年後期（45～64 歳）	17
6. 高齢期（65 歳以上）	17
7. 「食」を通じた家庭や地域との交流.....	18
8. 「食」やお茶を通じた食文化の継承.....	18

IV. 『第5章 重点課題の推進』に係る評価

1. 生活習慣病の発症予防と重症化予防.....	19
2. 次世代の健康づくりと食育.....	22

I. 「宇治市健康づくり・食育推進計画」最終評価

1. 最終評価の趣旨

平成 27 年度から開始した「宇治市健康づくり・食育推進計画」では計画に掲げた 255 項目（再掲含む）の目標を設定しています。最終評価は、計画に掲げた指標について、目標達成状況と推進活動状況を把握・評価することで、新たな計画策定の基礎資料とすることを目的としています。

2. 最終評価の方法

評価には、策定時と同様に実施した市民アンケート調査や各種健康診査等の関連データを用いて、策定時の値と直近値を比較し、目標に対する達成状況について以下のとおり評価しました。

評価区分	内容
A	目標値に達した
B	現時点で目標値に達していないが改善傾向にある (±1.5 ポイント以上差がある)
C	変わらない (±1.5 ポイント差まで)
D	悪化している (±1.5 ポイント以上差がある)
E	評価困難

3. 市民アンケート調査

調査の区分と、各調査区分の配布数、有効回答数、有効回答率は、下表のとおりです。

区分	配布数	有効回答数	有効回答率
小学生	427	399	93.7%
中学生	477	419	87.8%
青年期	1,400	277	19.8%
壮年前期	1,120	287	25.6%
壮年後期	830	311	37.5%
高齢期	650	398	61.2%
全体	4,904	2,091	42.6%

4. 目標項目の評価状況

策定時のベースライン値 と直近の実績値を比較	栄養・食生活	運動・身体活動	休養・こころの健康	歯の健康	喫煙	飲酒	健康行動	食育	生活習慣病の発症予防と 重症化予防	次世代の健康づくりと 食育	合計
A 目標値に達した	5 18.5%	3 20.0%	4 16.7%	9 39.1%	2 11.1%	4 21.1%	6 30.0%	5 16.7%	2 5.1%	7 17.5%	47 18.4%
B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある（±1.5ポイント以上差がある）	9 33.3%	4 26.7%	7 29.2%	5 21.7%	9 50.0%	5 26.3%	13 65.0%	12 40.0%	8 20.5%	14 35.0%	86 33.7%
C 変わらない（±1.5ポイント差まで）	4 14.8%	1 6.7%	2 8.3%	2 8.7%	6 33.3%	6 31.6%	0 0.0%	5 16.7%	8 20.5%	12 30.0%	46 18.0%
D 悪化している（±1.5ポイント以上差がある）	9 33.3%	7 46.7%	11 45.8%	7 30.4%	0 0.0%	4 21.1%	1 5.0%	8 26.7%	15 38.5%	5 12.5%	67 26.3%
E 評価困難	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 15.4%	2 5.0%	9 3.5%
合計	27 100.0%	15 100.0%	24 100.0%	23 100.0%	18 100.0%	19 100.0%	20 100.0%	30 100.0%	39 100.0%	40 100.0%	255 100.0%

※ 生活習慣病の発症予防と重症化予防、次世代の健康づくりと食育、合計には再掲含む。

※ 評価に用いたアンケート調査結果の数値は不明・無回答を含んで算出している。

Ⅱ.『第3章 健康づくりの推進』に係る評価

1. 妊娠出産期・乳幼児期（0～5歳）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
(1) 栄養・食生活	朝食を毎日食べている子どもの割合	93.3%	※1	95.3%	92.8%	※Ⅰ	C	100%
	食事のバランスをよく考える親	92.3%	※1	88.2%	88.9%	※Ⅰ	D	100%
	バランスの良い食事を心がけている妊婦	32.1%	※2	82.2%	81.1%	※Ⅱ	A	60%
(2) 運動・身体活動	1日2時間以上外遊びをしている子ども	38.0%	※1	22.9%	21.0%	※Ⅰ	D	60%
	テレビ等を見る時間が1日2時間以内の子ども	31.0%	※1	34.9%	32.3%	※Ⅰ	C	35%
(3) 休養・こころの健康	夜9時までに寝る子ども	8.9%	※1	13.1%	15.0%	※Ⅰ	A	15%
	朝7時までに起きる子ども	16.6%	※1	33.8%	28.9%	※Ⅰ	A	20%
	子どもとのふれあい遊びを楽しむ親	90.8%	※1	92.5%	97.7%	※Ⅰ	B	100%
(4) 歯の健康	むし歯のある3歳児	20.1%	※3	14.6%	10.2%	※Ⅲ	A	15%以下
	仕上げみがきをしている親	91.7%	※1	97.0%	97.7%	※Ⅰ	B	100%
	おやつ時間が決まっている子ども	73.9%	※1	81.8%	82.9%	※Ⅰ	B	85%
	おやつの量が決まっている子ども	69.3%	※1	74.3%	74.2%	※Ⅰ	B	80%
	よくかんで食べている子ども	75.5%	※1	83.7%	89.9%	※Ⅰ	A	85%
(5) 喫煙	妊婦の喫煙率	4.2%	※2	3.0%	3.1%	※Ⅱ	C	0%
	妊婦の同居者の喫煙率	—	—	33.6%	29.0%	※Ⅱ	E	0%
(6) 飲酒	妊婦の飲酒率	0.7%	※2	0.4%	0.2%	※Ⅱ	C	0%
(7) 健康行動	かかりつけ医を持つ子ども	87.4%	※1	81.4%	81.9%	※Ⅰ	D	100%
	かかりつけ歯科医を持つ子ども	31.0%	※1	32.1%	39.8%	※Ⅰ	B	40%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※2 妊娠届出時アンケート（平成25年）

※3 3歳児健康診査（平成25年）

※Ⅰ 3歳児健診調査票（令和4年度）

※Ⅱ 妊娠届出時アンケート（令和4年度）

※Ⅲ 3歳児健康診査（令和4年度）

【評価の概要】

（１）栄養・食生活

- ・ 「バランスの良い食事を心がけている妊婦」の割合は大幅に増加し目標を達成していますが、「食事のバランスをよく考える親」の割合はやや減少しています。

（２）運動・身体活動

- ・ 「１日２時間以上外遊びをしている子ども」の割合が減少しています。

（３）休養・こころの健康

- ・ 掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。

（４）歯の健康

- ・ 掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。

（５）喫煙

- ・ 「妊婦の同居者の喫煙率」が約３割となっています。

（６）飲酒

- ・ 「妊婦の飲酒率」が減少しているものの、目標値の０%を達成できていません。

（７）健康行動

- ・ 「かかりつけ歯科医を持つ子ども」の割合は増加していますが、「かかりつけ医を持つ子ども」の割合はやや減少しています。

2. 少年期（6～15 歳）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
(1) 栄養・食生活	朝食を毎日食べている小学生	85.3%	※1	86.5%	83.0%	※I	D	100%
	朝食を毎日食べている中学生	77.5%	※1	77.6%	79.2%	※I	B	100%
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている小学生	86.0%	※1	85.3%	86.2%	※I	C	100%
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている中学生	86.0%	※1	85.5%	86.4%	※I	C	100%
	適正体重の小学生（男子） ※ローレル指数で「標準」	36.8%	※1	47.2%	35.7%	※I	C	40%
	適正体重の小学生（女子） ※ローレル指数で「標準」	30.5%	※1	41.6%	45.5%	※I	A	35%
	適正体重の中学生（男子） ※ローレル指数で「標準」	34.0%	※1	28.2%	43.2%	※I	A	40%
	適正体重の中学生（女子） ※ローレル指数で「標準」	42.6%	※1	43.5%	47.8%	※I	B	50%
(2) 運動・身体活動	体育の授業以外に運動やスポーツを週3日以上する小学生	60.7%	※1	65.6%	62.9%	※I	B	75%
	体育の授業以外に運動やスポーツを週3日以上する中学生	72.1%	※1	74.7%	75.9%	※I	B	80%
(3) 休養・こころの健康	夜10時までに寝る小学生	30.1%	※1	37.0%	33.3%	※I	B	35%
	夜11時までに寝る中学生	17.7%	※1	22.0%	25.5%	※I	A	20%
	テレビ等を見る時間が1日2時間以内の小学生	44.4%	※1	41.1%	42.1%	※I	D	50%
	テレビ等を見る時間が1日2時間以内の中学生	32.4%	※1	22.4%	27.9%	※I	D	40%
	ストレスを感じる小学生	57.5%	※1	67.3%	55.9%	※I	B	50%以下
	ストレスを感じる中学生	66.4%	※1	74.3%	61.1%	※I	B	60%以下
	学校生活を楽しいと思う小学生	83.2%	※1	82.0%	83.2%	※I	C	100%
	学校生活を楽しいと思う中学生	81.5%	※1	82.8%	87.4%	※I	B	100%
(4) 歯の健康	むし歯のある小学生	30.7%	※2	25.6%	24.0%	※II	A	25%以下
	むし歯のある中学生	22.2%	※2	15.3%	13.0%	※II	A	20%以下
	よくかんで食べている小学生	71.7%	※1	77.9%	63.2%	※I	D	80%
	よくかんで食べている中学生	64.3%	※1	76.2%	54.4%	※I	D	75%
(5) 喫煙	家族の喫煙率（小学生）	40.2%	※1	34.1%	34.1%	※I	B	20%以下
	家族の喫煙率（中学生）	41.3%	※1	40.8%	31.3%	※I	B	20%以下
	喫煙が体に悪いと思う小学生	93.6%	※1	92.3%	94.0%	※I	C	100%
	喫煙が体に悪いと思う中学生	94.5%	※1	96.0%	94.0%	※I	C	100%

(6) 飲酒	多量飲酒が体に悪いと思う小学生	72.9%	※1	94.0%	78.2%	※Ⅰ	B	100%
	多量飲酒が体に悪いと思う中学生	86.4%	※1	94.1%	88.3%	※Ⅰ	B	100%
(7) 健康行動	自分の健康のために心がけていることがある小学生	69.2%	※1	69.2%	75.2%	※Ⅰ	B	80%
	自分の健康のために心がけていることがある中学生	45.8%	※1	67.3%	63.0%	※Ⅰ	A	50%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※2 学校教育課（平成25年度）

※Ⅰ 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

※Ⅱ 学校管理課（令和4年度）

【評価の概要】

（1）栄養・食生活

- ・「朝食を毎日食べている小学生」の割合が減少している一方、「朝食を毎日食べる中学生」の割合は増加しています。
- ・「適正体重の小学生（女子）」「適正体重の中学生（男子）」について割合が増加し目標を達成しています。

（2）運動・身体活動

- ・掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。

（3）休養・こころの健康

- ・「夜10時までに寝る小学5年生」「夜11時までに寝る中学生」の割合が増加している一方、「テレビ等を見る時間が1日2時間以内の小学生」「テレビ等を見る時間が1日2時間以内の中学生」の割合が減少しています。
- ・「ストレスを感じる小学生」「ストレスを感じる中学生」の割合は減少しています。
- ・「学校生活を楽しいと思う中学生」が増加しています。

（4）歯の健康

- ・「むし歯のある小学生」「むし歯のある中学生」の割合は減少し、いずれも目標を達成しています。
- ・「よくかんで食べている小学生」「よくかんで食べている中学生」の割合が減少しています。

（5）喫煙

- ・「喫煙が体に悪いと思う小学生」「喫煙が体に悪いと思う中学生」の割合は、高値となり、喫煙による健康被害についての知識と理解は浸透しています。

（6）飲酒

- ・掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。

（7）健康行動

- ・掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。

3. 青年期（16～29 歳）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
(1) 栄養・食生活	朝食を毎日食べている人	66.9%	※1	61.6%	62.8%	※I	D	85%
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人	74.6%	※1	71.5%	80.5%	※I	B	85%
	やせの人の割合（男性）	16.4%	※1	14.4%	18.3%	※I	D	15%以下
	やせの人の割合（女性）	18.7%	※1	17.7%	14.3%	※I	A	15%以下
(2) 運動・身体活動	ふだんから歩くことに努めている人	66.5%	※1	51.7%	56.0%	※I	D	75%
	週1回以上、運動やスポーツをする人	45.8%	※1	54.0%	59.2%	※I	A	50%
(3) 休養・こころの健康	睡眠による休養を十分にとっている人	36.5%	※1	39.9%	32.9%	※I	D	45%
	ストレスによる体の不調を感じる人	69.7%	※1	65.8%	66.1%	※I	B	55%以下
	ストレスや悩みがあるときに相談できる人や機関のある人	83.1%	※1	79.5%	79.1%	※I	D	100%
(4) 歯の健康	むし歯や歯周病について正しい知識を持つ人	16.9%	※1	33.8%	39.4%	※I	A	20%
	よくかんで食べている人	45.8%	※1	65.0%	45.5%	※I	C	50%
	定期的に歯科健診を受けている人	36.9%	※1	34.6%	34.3%	※I	D	45%
(5) 喫煙	喫煙率（男性）	10.9%	※1	14.4%	11.8%	※I	C	10%以下
	喫煙率（女性）	5.3%	※1	4.4%	3.9%	※I	C	0%
	受動喫煙に配慮する喫煙者	65.0%	※1	73.9%	93.3%	※I	A	75%
(6) 飲酒	毎日お酒を飲む人（男性）	1.8%	※1	1.9%	1.2%	※I	C	0%
	毎日お酒を飲む人（女性）	2.7%	※1	1.3%	0.0%	※I	A	0%
	多量飲酒者（男性）	45.0%	※1	82.9% ※2	37.7% ※2	※I	B	10%以下
	多量飲酒者（女性）	42.0%	※1	59.7% ※2	37.7% ※2	※I	B	0%
(7) 健康行動	定期的に健康診査を受けている人	75.3%	※1	78.7%	80.1%	※I	B	85%
	かかりつけ医を持つ人	40.4%	※1	40.3%	47.7%	※I	A	45%
	かかりつけ歯科医を持つ人	47.3%	※1	45.2%	50.9%	※I	B	55%
	自分の健康のために心がけていることがある人	58.5%	※1	57.4%	65.3%	※I	B	90%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※2 「飲まない」人も各酒0.5合換算で足し上げた数値

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

【評価の概要】

（１）栄養・食生活

- ・ 「朝食を毎日食べている人」の割合が減少しています。
- ・ 「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上、ほぼ毎日食べている人」の割合は増加しています。
- ・ 「やせの人の割合（男性）」の割合は増加している一方、「やせの人の割合（女性）」の割合は減少し目標を達成しています。

（２）運動・身体活動

- ・ 「ふだんから歩くことに努めている人」の割合が減少しているものの、「週１回以上、運動やスポーツをする人」の割合は増加し目標を達成しています。

（３）休養・こころの健康

- ・ 「睡眠による休養を十分にとっている人」の割合が減少しています。
- ・ 「ストレスや悩みがあるときに相談できる人や機関のある人」の割合が減少しています。

（４）歯の健康

- ・ 「むし歯や歯周病について正しい知識を持つ人」の割合が増加し目標を達成しています。
- ・ 「定期的に歯科健診を受けている人」の割合が減少しています。

（５）喫煙

- ・ 「受動喫煙に配慮する喫煙者」の割合が増加し、目標を達成しています。

（６）飲酒

- ・ 「毎日お酒を飲む人（女性）」は減少し目標を達成しています。

（７）健康行動

- ・ 掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。

4. 壮年前期（30～44 歳）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
(1) 栄養・食生活	朝食を毎日食べている人	71.5%	※1	68.5%	74.6%	※I	B	85%
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人	69.3%	※1	70.3%	65.9%	※I	D	80%
	やせの女性の割合	14.7%	※1	12.2%	12.1%	※I	B	10%以下
	肥満の男性の割合	25.6%	※1	20.4%	37.1%	※I	D	20%以下
	メタボリックシンドロームの予防や改善のために適切な食事や運動を心がけている人	31.3%	※1	40.1%	36.6%	※I	B	50%
(2) 運動・身体活動	ふだんから歩くことに努めている人	51.8%	※1	48.3%	48.8%	※I	D	70%
	週1回以上、運動やスポーツをする人	36.0%	※1	39.2%	39.4%	※I	B	40%
(3) 休養・こころの健康	睡眠による休養を十分にとっている人	40.2%	※1	39.8%	30.3%	※I	D	45%
	ストレスによる体の不調を感じる人	65.9%	※1	75.3%	71.8%	※I	D	60%以下
	ストレスや悩みがあるときに相談できる人や機関のある人	77.6%	※1	74.3%	72.8%	※I	D	85%
(4) 歯の健康	むし歯や歯周病について正しい知識を持つ人	23.8%	※1	35.5%	38.0%	※I	A	30%
	よくかんで食べている人	38.5%	※1	49.2%	31.4%	※I	D	45%
	定期的に歯科健診を受けている人	33.8%	※1	38.5%	43.9%	※I	B	50%
(5) 喫煙	喫煙率（男性）	32.6%	※1	27.4%	22.5%	※I	A	25%以下
	喫煙率（女性）	10.3%	※1	3.8%	7.6%	※I	B	0%
	受動喫煙に配慮する喫煙者	81.8%	※1	90.0%	85.7%	※I	B	100%
(6) 飲酒	毎日お酒を飲む人（男性）	23.3%	※1	17.7%	11.2%	※I	A	20%以下
	毎日お酒を飲む人（女性）	8.2%	※1	8.0%	7.1%	※I	C	0%
	多量飲酒者（男性）	36.3%	※1	61.4% ※2	28.0% ※2	※I	A	30%以下
	多量飲酒者（女性）	24.6%	※1	60.0% ※2	30.6% ※2	※I	D	20%以下
(7) 健康行動	定期的に健康診査を受けている人	73.4%	※1	81.1%	82.2%	※I	B	85%
	かかりつけ医を持つ人	40.2%	※1	37.0%	47.7%	※I	B	50%
	かかりつけ歯科医を持つ人	50.7%	※1	58.1%	66.2%	※I	A	60%
	自分の健康のために心がけていることがある人	63.2%	※1	65.1%	71.4%	※I	B	100%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※2 「飲まない」人も各酒0.5合換算で足し上げた数値

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

【評価の概要】

（１）栄養・食生活

- ・ 「朝食を毎日食べている人」の割合が増加しています。
- ・ 「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上、ほぼ毎日食べている人」の割合が減少しています。
- ・ 「やせの女性の割合」が減少しています。
- ・ 「肥満の男性の割合」が増加している一方、「メタボリックシンドロームの予防や改善のために適切な食事や運動を心がけている人」の割合が増加しています。

（２）運動・身体活動

- ・ 「ふだんから歩くことに努めている人」が減少しています。
- ・ 「週１回以上、運動やスポーツをする人」の割合が増加しています。

（３）休養・こころの健康

- ・ 「睡眠による休養を十分にとっている人」の割合が減少しており、「ストレスによる体の不調を感じる人」の割合が増加しています。
- ・ 「ストレスや悩みがあるときに相談できる人や機関のある人」の割合が減少しています。

（４）歯の健康

- ・ 「むし歯や歯周病について正しい知識を持つ人」が増加し目標を達成しています。
- ・ 「よくかんで食べている人」の割合が減少しています。
- ・ 「定期的に歯科健診を受けている人」の割合が増加しています。

（５）喫煙

- ・ 掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。
- ・ 「喫煙率（男性）」の割合が減少し、目標を達成しています。

（６）飲酒

- ・ 「毎日お酒を飲む人（男性）」の割合が減少し目標を達成しています。
- ・ 男女ともに多量飲酒者が一定数おり、女性は増加しています。

（７）健康行動

- ・ 「定期的に健康診査を受けている人」の割合が増加しています。
- ・ 掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。

5. 壮年後期（45～64 歳）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
(1) 栄養・食生活	朝食を毎日食べている人	84.3%	※1	83.7%	80.7%	※I	D	100%
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人	77.7%	※1	76.7%	75.9%	※I	D	85%
	肥満の男性の割合	25.3%	※1	30.0%	35.3%	※I	D	20%以下
	メタボリックシンドロームの予防や改善のために適切な食事や運動を心がけている人	42.9%	※1	49.5%	49.5%	※I	B	50%
(2) 運動・身体活動	ふだんから歩くことに努めている人	55.8%	※1	54.0%	52.4%	※I	D	70%
	週1回以上、運動やスポーツをする人	48.9%	※1	49.7%	46.9%	※I	D	55%
	ロコモティブシンドロームの言葉も意味も知っている人	15.9%	※1	22.4%	21.5%	※I	A	20%
(3) 休養・こころの健康	睡眠による休養を十分にとっている人	53.6%	※1	41.5%	29.9%	※I	D	60%
	ストレスによる体の不調を感じる人	57.4%	※1	66.1%	67.8%	※I	D	45%以下
	ストレスや悩みがあるときに相談できる人や機関のある人	67.0%	※1	65.8%	72.3%	※I	B	75%
(4) 歯の健康	むし歯や歯周病について正しい知識を持つ人	30.8%	※1	38.7%	42.1%	※I	A	35%
	よくかんで食べている人	34.6%	※1	45.0%	29.9%	※I	D	40%
	定期的に歯科健診を受けている人	34.3%	※1	35.1%	33.4%	※I	C	60%
	60歳代で自分の歯が24本以上ある人	51.8%	※1	53.9%	64.3%	※I	A	60%
(5) 喫煙	喫煙率（男性）	26.7%	※1	24.6%	22.1%	※I	B	20%以下
	喫煙率（女性）	9.0%	※1	8.2%	8.7%	※I	C	0%
	受動喫煙に配慮する喫煙者	86.4%	※1	85.1%	88.9%	※I	B	100%
(6) 飲酒	毎日お酒を飲む人（男性）	35.3%	※1	35.4%	27.9%	※I	A	30%以下
	毎日お酒を飲む人（女性）	12.3%	※1	13.1%	11.6%	※I	C	10%以下
	多量飲酒者（男性）	25.0%	※1	66.3% ※2	32.9% ※2	※I	D	20%以下
	多量飲酒者（女性）	15.0%	※1	57.0% ※2	17.1% ※2	※I	D	10%以下
(7) 健康行動	定期的に健康診査を受けている人	75.0%	※1	86.3%	88.7%	※I	A	85%
	かかりつけ医を持つ人	57.1%	※1	62.9%	63.7%	※I	B	70%
	かかりつけ歯科医を持つ人	63.2%	※1	70.3%	67.2%	※I	B	80%
	自分の健康のために心がけていることがある人	69.5%	※1	72.2%	75.9%	※I	B	100%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※2 「飲まない」人も各酒0.5合換算で足し上げた数値

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

【評価の概要】

（１）栄養・食生活

- ・ 「朝食を毎日食べている人」の割合が減少しています。
- ・ 「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上、ほぼ毎日食べている人」の割合が減少しています。
- ・ 「肥満の男性の割合」が増加している一方、「メタボリックシンドロームの予防や改善のために適切な食事や運動を心がけている人」の割合が増加しています。

（２）運動・身体活動

- ・ 「ふだんから歩くことに努めている人」「週１回以上、運動やスポーツをする人」が減少しています。
- ・ 「ロコモティブシンドロームの言葉も意味も知っている人」の割合が増加し目標を達成しています。

（３）休養・こころの健康

- ・ 「睡眠による休養を十分にとっている人」の割合が減少しており、「ストレスによる体の不調を感じる人」の割合が増加しています。
- ・ 「ストレスや悩みがあるときに相談できる人や機関のある人」の割合が増加しています。

（４）歯の健康

- ・ 「むし歯や歯周病について正しい知識を持つ人」「60歳代で自分の歯が24本以上ある人」の割合が増加し目標を達成しています。
- ・ 「よくかんで食べている人」の割合が減少しています。

（５）喫煙

- ・ 「喫煙率（男性）」の割合が減少し、「受動喫煙に配慮する喫煙者」の割合が増加しています。

（６）飲酒

- ・ 「毎日お酒を飲む人（男性）」の割合が減少し目標を達成しています。
- ・ 男女ともに多量飲酒者が一定数おり、増加しています。

（７）健康行動

- ・ 掲げている数値目標について、どの項目も改善されています。

6. 高齢期（65 歳以上）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
(1) 栄養・食生活	朝食を毎日食べている人	91.2%	※1	91.4%	93.7%	※I	B	100%
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人	84.1%	※1	84.5%	88.7	※I	B	100%
	メタボリックシンドロームの予防や改善のために適切な食事や運動を心がけている人	43.0%	※1	50.7%	53.3%	※I	A	50%
(2) 運動・身体活動	ふだんから歩くことに努めている人	63.4%	※1	54.8%	57.0%	※I	D	70%
	週1回以上、運動やスポーツをする人	58.8%	※1	57.6%	64.8%	※I	B	65%
	週2～3日以上外出する人	78.7%	※1	70.0%	66.8%	※I	D	90%
	ロコモティブシンドロームの言葉も意味も知っている人	20.1%	※1	27.2%	25.9%	※I	A	25%
(3) 休養・こころの健康	ストレスによる体の不調を感じる人	41.8%	※1	50.0%	54.8%	※I	D	35%以下
	ストレスや悩みがあるときに相談できる人や機関のある人	63.7%	※1	56.9%	60.3%	※I	D	75%
	生きがいや趣味がある人	64.0%	※1	68.6%	65.1%	※I	C	80%
	地域活動に参加している人	41.5%	※1	41.0%	53.0%	※I	A	50%
(4) 歯の健康	むし歯や歯周病について正しい知識を持つ人	37.2%	※1	47.6%	51.0%	※I	A	45%
	よくかんで食べている人	47.9%	※1	57.2%	45.2%	※I	D	55%
	定期的に歯科健診を受けている人	46.6%	※1	32.4%	37.7%	※I	D	55%
	80歳以上で自分の歯が20本以上ある人	25.8%	※1	43.3%	28.2%	※I	B	30%
(5) 喫煙	喫煙率（男性）	12.9%	※1	11.7%	11.2%	※I	B	10%以下
	喫煙率（女性）	3.5%	※1	6.9%	1.9%	※I	B	0%
	受動喫煙に配慮する喫煙者	80.8%	※1	93.5%	84.0%	※I	B	90%
(6) 飲酒	毎日お酒を飲む人（男性）	36.1%	※1	38.6%	31.3%	※I	B	30%以下
	毎日お酒を飲む人（女性）	5.2%	※1	9.7%	9.8%	※I	D	0%
	多量飲酒者（男性）	14.6%	※1	34.7% ※2	15.5% ※2	※I	C	10%以下
	多量飲酒者（女性）	9.8%	※1	12.0% ※2	11.0% ※2	※I	C	0%
(7) 健康行動	定期的に健康診査を受けている人	65.8%	※1	79.6%	78.1%	※I	A	75%
	かかりつけ医を持つ人	80.8%	※1	82.8%	85.9%	※I	B	90%
	かかりつけ歯科医を持つ人	66.8%	※1	77.6%	76.9%	※I	A	75%
	自分の健康のために心がけていることがある人	72.3%	※1	73.8%	75.9%	※I	B	100%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※2 「飲まない」人も各酒0.5合換算で足し上げた数値

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

【評価の概要】

（１）栄養・食生活

- ・ 掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。

（２）運動・身体活動

- ・ 「ふだんから歩くことに努めている人」の割合が減少しています。
- ・ 「週１回以上、運動やスポーツをする人」の割合が増加しています。
- ・ 「週２～３日以上外出する人」の割合が減少しています。
- ・ 「ロコモティブシンドロームの言葉も意味も知っている人」の割合が増加し目標を達成しています。

（３）休養・こころの健康

- ・ 「ストレスによる体の不調を感じる人」の割合が増加しています。
- ・ 「ストレスや悩みがあるときに相談できる人や機関のある人」の割合が減少しています。
- ・ 「地域活動に参加している人」の割合が増加し目標を達成しています。

（４）歯の健康

- ・ 「むし歯や歯周病について正しい知識を持つ人」の割合が増加し目標を達成している一方、「よくかんで食べている人」の割合が減少しています。
- ・ 「定期的に歯科健診を受けている人」の割合が減少しています。
- ・ 「８０歳以上で自分の歯が２０本以上ある人」の割合が増加しています。

（５）喫煙

- ・ 掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。

（６）飲酒

- ・ 「毎日お酒を飲む人（男性）」の割合が減少している一方、「毎日お酒を飲む人（女性）」の割合が増加しています。
- ・ 男女ともに多量飲酒者が一定数います。

（７）健康行動

- ・ 掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。

Ⅲ.『第4章 食育の推進』に係る評価

1. 妊娠出産期・乳幼児期（0～5 歳）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
食育	食事が楽しいと思える親子	92.6%	※1	92.3%	92.8%	※I	C	100%
	週に3日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている子ども	70.3%	※1	74.1%	79.6%	※I	B	80%
	食事の時にテレビを消している子ども	49.1%	※1	48.8%	52.2%	※I	B	55%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

【評価の概要】

- ・ 「週に3日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている子ども」「食事の時にテレビを消している子ども」の割合が増加しています。

2. 少年期（6～15 歳）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
食育	食育に関心を持っている小学生	60.5%	※1	59.4%	70.2%	※I	B	90%
	食育に関心を持っている中学生	40.7%	※1	52.2%	54.4%	※I	B	90%
	週3日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている小学生	58.6%	※1	63.0%	61.2%	※I	B	65%
	週3日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている中学生	64.3%	※1	67.7%	72.3%	※I	B	75%
	農業体験をしたことがある小学生	87.4%	※1	89.4%	94.7%	※I	B	100%
	農業体験をしたことがある中学生	61.5%	※1	89.7%	92.8%	※I	A	70%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

【評価の概要】

- ・ 掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。
- ・ 「農業体験をしたことがある中学生」の割合が増加し、目標を達成しています。

3. 青年期（16～29 歳）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
食育	食育に関心を持っている人	66.5%	※1	54.0%	62.8%	※I	D	90%
	週3日以上、家族や友人と一緒に 食事をする人（※2）	82.3%	※1	85.2%	88.8%	※I	B	100%
	農業体験をしたことがある人	63.1%	※1	66.5%	72.2%	※I	A	70%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

※2 策定時は「週3日以上、家族の誰かと一緒に食事をする人」

【評価の概要】

- ・「食育に関心を持っている人」の割合が減少しています。
- ・「週3日以上、家族や友人と一緒に食事をする人」の割合が増加しています。
- ・「農業体験をしたことがある人」の割合が増加し、目標を達成しています。

4. 壮年前期（30～44 歳）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
食育	食育に関心を持っている人	73.6%	※1	70.9%	76.7%	※I	B	90%
	週3日以上、家族や友人と一緒に 食事をする人（※2）	80.4%	※1	85.9%	83.6%	※I	B	90%
	農業体験をしたことがある人	44.0%	※1	47.4%	55.1%	※I	A	50%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

※2 策定時は「週3日以上、家族の誰かと一緒に食事をする人」

【評価の概要】

- ・掲げている数値目標について、どの項目も改善しています。
- ・「農業体験をしたことがある人」が増加し、目標を達成しています。

5. 壮年後期（45～64 歳）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
食育	食育に関心を持っている人	69.8%	※1	68.0%	71.1%	※I	C	90%
	週3日以上、家族や友人と一緒に 食事をする人（※2）	78.9%	※1	84.7%	79.4%	※I	C	90%
	農業体験をしたことがある人	33.2%	※1	40.6%	33.8%	※I	C	40%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

※2 策定時は「週3日以上、家族の誰かと一緒に食事をする人」

【評価の概要】

- 掲げている数値目標について、どの項目も変化はありません。

6. 高齢期（65 歳以上）

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
食育	食育に関心を持っている人	62.5%	※1	65.1%	69.3%	※I	B	90%
	週3日以上、家族や友人と一緒に 食事をする人（※2）	75.7%	※1	73.1%	70.9%	※I	D	85%
	農業体験をしたことがある人	39.6%	※1	36.9%	31.4%	※I	D	45%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

※2 策定時は「週3日以上、家族の誰かと一緒に食事をする人」

【評価の概要】

- 「食育に関心を持っている人」の割合が増加している一方、「週3日以上、家族や友人と一緒に食事をする人」「農業体験をしたことがある人」の割合が減少しています。

7. 「食」を通じた家庭や地域との交流

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
食育	家庭で食事の基本的なマナーを伝えたい人	50.2%	※1	51.3%	44.9%	※I	D	55%
	食事を食べ残さないようにしている人	71.4%	※1	70.6%	81.3%	※I	A	80%

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

【評価の概要】

- ・「家庭で食事の基本的なマナーを伝えたい人」の割合が減少しています。
- ・「食事を食べ残さないようにしている人」の割合が増加し、目標を達成しています。

8. 「食」やお茶を通じた食文化の継承

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
食育	家庭で郷土料理や行事食を伝えたい人	30.6%	※1	21.0%	26.5%	※I	D	35%
	農産物を購入する際に、京都府内産のものを購入する人	33.8%	※1	28.4%	30.9%	※I	D	40%
	家庭で京都府内産の食材の利用を伝えていきたい人	21.4%	※1	21.8%	21.2%	※I	C	25%
	緑茶をほぼ毎日飲んでいる人	43.5%	※1	28.7%	30.4%	※I	D	50%
	ふだんから急須で淹れたお茶を飲んでいる人	42.0%	※1	18.5%	28.9%	※I	D	50%
	食の安全に関する知識を持っていると感じている人	52.3%	※1	57.0%	62.6%	※I	A	60%
	食育推進ボランティアの数	430人	※2	462人	478人	※II	B	500人

※1 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※2 健康づくり推進課

※I 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

※II 健康づくり推進課（令和4年度）

【評価の概要】

- ・「食の安全に関する知識を持っていると感じている人」の割合、「食育推進ボランティアの数」が増加しています。
- ・「家庭で郷土料理や行事食を伝えたい人」「農産物を購入する際に、京都府内産のものを購入する人」「緑茶をほぼ毎日飲んでいる人」「ふだんから急須で淹れたお茶を飲んでいる人」の割合が減少しています。

IV.『第5章 重点課題の推進』に係る評価

1. 生活習慣病の発症予防と重症化予防

【数値目標に対する評価】

分野	項目	策定時 (H27)	資料	中間評価 時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標
(1) 各種がん検診の受診率※	胃がん	3.2%	-	2.1%	1.5%	-	E	40%
	肺がん	5.3%	-	1.7%	1.5%	-	E	40%
	乳がん	18.6%	-	14.0%	15.5%	-	E	50%
	子宮頸がん	14.8%	-	9.2%	11.4%	-	E	50%
	大腸がん	18.1%	-	3.9%	4.1%	-	E	40%
	前立腺がん	17.2%	-	12.6%	4.5%	-	E	40%
(2) 循環器疾患	メタボリックシンドロームの該当者 ※策定時は平成24年度	16.4%	※1	19.5%	22.6%	※I	D	12%以下
	メタボリックシンドロームの予備群 ※策定時は平成24年度	9.7%	※1	10.2%	10.3%	※I	C	7%以下
	特定健康診査の実施率	30.2%	※1	36.1%	40.2%	※I	B	60%
	特定保健指導の実施率	23.6%	※1	20.2%	19.3%	※I	D	60%
	収縮期血圧 130mmHg 以上の人 ※特定健康診査によるもの	48.4%	※2	50.6%	51.6%	※II	D	44%以下
	LDL コレステロール 120mg/dl 以上の人 ※特定健康診査によるもの	54.0%	※2	48.0%	45.3%	※II	A	49%以下
	HDL コレステロール 40mg/dl 未満の人 ※特定健康診査によるもの	4.3%	※2	5.5%	4.6%	※II	C	4%以下
(3) 糖尿病	HbA1c 5.6% 以上 (NGSP 値) の人 ※特定健康診査によるもの	53.5%	※1	56.9%	60.9%	※I	D	48%以下
	糖尿病有病者の割合 ※策定時は平成26年10月	9.0%	※1	10.6%	11.0%	※I	D	10%以下
(4) COPD	COPD の言葉も意味も知っている人	17.9%	※3	19.7%	19.2%	※III	C	20%
(5) 生活習慣の改善	①禁煙	喫煙率 (男性)	※1	19.2%	16.4%	※I	B	15%以下
		喫煙率 (女性)	※1	5.7%	5.5%	※I	B	0%以下
		受動喫煙へ配慮する喫煙者	※1	85.9%	88.2%	※I	B	90%
	②適切な食事	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人	※1	75.5%	78.3%	※I	B	85%
		適正体重を維持している人 (男性・青年期)	※1	70.2%	62.7%	※I	D	80%
		適正体重を維持している人 (男性・壮年前期)	※1	72.6%	58.4%	※I	D	80%
		適正体重を維持している人 (男性・壮年後期)	※1	63.8%	61.0%	※I	D	80%
		適正体重を維持している人 (男性・高齢期)	※1	68.3%	75.4%	※I	C	85%

		適正体重を維持している人 (女性・青年期)	72.0%	※1	68.4%	73.5%	※I	B	80%
		適正体重を維持している人 (女性・壮年前期)	74.1%	※1	67.1%	69.2%	※I	D	85%
		適正体重を維持している人 (女性・壮年後期)	75.0%	※1	72.1%	62.8%	※I	D	85%
		適正体重を維持している人 (女性・高齢期)	77.3%	※1	70.3%	67.3%	※I	D	85%
		減塩を心がけている人	56.5%	※1	50.3%	54.3%	※I	D	65%
		緑黄色野菜をほぼ毎日とっている人	63.1%	※1	58.7%	61.4%	※I	D	70%
		淡色野菜をほぼ毎日とっている人	77.7%	※1	75.9%	77.9%	※I	C	85%
	③ 適度な運動	ふだんから歩くことに努めている人	58.9%	※1	52.0%	53.6%	※I	D	65%
		週1回以上、運動やスポーツをする人	47.7%	※1	49.6%	53.3%	※I	B	55%
	④ リスクを高める飲酒量の減少	毎日お酒を飲む人(男性)	25.8%	※1	25.1%	21.5%	※I	B	20%以下
		毎日お酒を飲む人(女性)	7.6%	※1	8.1%	8.0%	※I	C	0%
		多量飲酒者(男性)	27.6%	※1	58.8%※5	26.5%※5	※I	C	25%以下
		多量飲酒者(女性)	23.2%	※1	53.8%※5	23.2%※5	※I	C	20%以下
(6) 地域活動や市民活動への支援	宇治市健康づくり＜うー茶ん＞連絡会 (宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA) 加入団体数(※6)		11 団体	※4	51 団体	85 団体(※7)	※IV	A	増加を目指す
	宇治市食生活改善推進員協議会 「若葉の会」会員数		73 名	※4	45 名	45 名	※IV	D	増加を目指す

※ 平成 27 年度の集計から、京都府指示により「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に準じた受診率の算定方法に変更したため、E 判定(評価困難)とした。

※1 平成 24 年度特定健診・特定保健指導法定報告結果

※2 国保データベースシステム

※3 健康づくりに関するアンケート(平成 26 年)

※4 健康生きがい課

※5 「飲まない」人も各酒 0.5 合換算で足し上げた数値

※6 ＜うー茶ん＞連絡会は平成 31 年度に宇治市健康づくり・食育アライアンスへ移行しました

※I 令和 4 年度特定健診・特定保健指導法定報告結果

※II 国保データベースシステム(令和 4 年度)

※III 健康づくりに関するアンケート(令和 5 年)

※IV 健康づくり推進課(令和 4 年度)

【評価の概要】

(1) 各種がん検診の受診率（中間評価時との比較）

- ・ 「乳がん」「子宮頸がん」「大腸がん」の受診率は中間評価時と比較し増加傾向です。
- ・ 「胃がん」「肺がん」「前立腺がん」の受診率は中間評価時と比較し減少傾向です。

(2) 循環器疾患

- ・ 「メタボリックシンドロームの該当者」の割合が増加しています。
- ・ 「特定健康診査の実施率」が増加している一方、「特定保健指導の実施率」が減少しています。
- ・ 「収縮期血圧 130mmHg 以上の人」の割合が増加しています。
- ・ 「LDL コレステロール 120mg/dl 以上の人」の割合は減少し目標を達成しています。

(3) 糖尿病

- ・ 「HbA1c 5.6% 以上（NGSP 値）の人」の割合、「糖尿病有病者の割合」が増加しています。

(4) COPD

- ・ 「COPD の言葉も意味も知っている人」の割合は変化していません。

(5) 生活習慣の改善

① 禁煙

- ・ 男女ともに喫煙率が減少しています。
- ・ 「受動喫煙へ配慮する喫煙者」が増加しています。

② 適切な食事

- ・ 「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を 1 日 2 回以上、ほぼ毎日食べている人」の割合が増加しています。
- ・ 適正体重を維持している人について、男性・青年期、男性・壮年前期、男性・壮年後期、女性・壮年前期、女性・壮年後期、女性・高齢期で減少しています。
- ・ 「減塩を心がけている人」「緑黄色野菜をほぼ毎日とっている人」の割合が減少しています。

③ 適度な運動

- ・ 「ふだんから歩くことに努めている人」の割合が減少しています。
- ・ 「週 1 回以上、運動やスポーツをする人」の割合が増加しています。

④ リスクを高める飲酒量の減少

- ・ 「毎日お酒を飲む人（男性）」の割合が減少しています。
- ・ 男女ともに多量飲酒者は一定数います。

(6) 地域活動や市民活動への支援

- ・ 「宇治市健康づくり＜うー茶ん＞連絡会（宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA）加入団体数」が増加している一方、「宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」会員数」が減少しています。

2. 次世代の健康づくりと食育

【数値目標に対する評価】

分野		項目	策定時 (H27)	資料	中間評価 時 (R2)	最終評価時 (R5)	資料	最終 評価	目標	
(1)	妊産婦や乳 幼児の成長 を見守る保 健対策	母親教室に参加する妊婦	30.2%	※1	29.1%	29.4%	※Ⅰ	C	50%	
		妊娠 11 週までに母子健康手帳の交付を受けている妊婦	91.2%	※1	91.2%	92.5%	※Ⅰ	C	100%	
		乳幼児健康診査の受診率 (3 か月児健診)	97.5%	※2	96.4%	97.6%	※Ⅱ	C	100%	
		乳幼児健康診査の受診率 (10 か月児健診)	96.1%	※2	93.7%	93.7%	※Ⅱ	D	100%	
		乳幼児健康診査の受診率 (1 歳 8 か月児健診)	96.5%	※2	95.4%	97.6%	※Ⅱ	C	100%	
		乳幼児健康診査の受診率 (3 歳児健診)	95.1%	※2	96.6%	98.0%	※Ⅱ	B	100%	
		予防接種の接種率 (BCG)	97.5%	※2	97.9%	97.8%	※Ⅱ	C	100%	
(2)	妊娠前や妊 娠期の生活 習慣	毎日朝食を食べている妊婦	71.4%	※1	82.1%	81.0%	※Ⅰ	B	100%	
		バランスの良い食事を心がけている妊婦	32.1%	※1	82.2%	81.1%	※Ⅰ	A	60%	
		適正体重を維持している妊婦	—	—	52.7%	51.4%	※Ⅱ	E	80%	
		妊婦の喫煙率	4.2%	※1	3.0%	3.1%	※Ⅰ	C	0%	
		妊婦の飲酒率	0.7%	※1	0.4%	0.2%	※Ⅰ	C	0%	
		妊婦の歯科健診受診率	—	—	32.6%	37.8%	—	E	65%	
		低出生体重児の出生割合	11.2%	—	11.1%	9.4%	※Ⅲ	A	9.6%以下	
(3)	子どもの健康な生活習慣 (栄養・食生活、運動、休養) 「再掲」	① 乳幼児	朝食を毎日食べている子ども	93.3%	※3	95.3%	92.8%	※Ⅳ	C	100%
			週に 3 日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている子ども	70.3%	※3	74.1%	79.6%	※Ⅳ	B	80%
			食事のバランスをよく考える親	92.3%	※3	88.2%	88.9%	※Ⅳ	D	100%
			1 日 2 時間以上外遊びをしている子ども	38.0%	※3	22.9%	21.0%	※Ⅳ	D	60%
			夜 9 時までに寝る子ども	8.9%	※3	13.1%	15.0%	※Ⅳ	A	15%
			朝 7 時までに起きる子ども	16.6%	※3	33.8%	28.9%	※Ⅳ	A	20%
		② 小・中学生	朝食を毎日食べている小学生	85.3%	※3	86.5%	83.0%	※Ⅳ	D	100%
			朝食を毎日食べている中学生	77.5%	※3	77.6%	79.2%	※Ⅳ	B	100%
			週 3 日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている小学生	58.6%	※3	63.0%	61.2%	※Ⅳ	B	65%
			週 3 日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている中学生	64.3%	※3	67.7%	72.3%	※Ⅳ	B	75%
			主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を 1 日 2 回以上、ほぼ毎日食べている小学生	86.0%	※3	85.3%	86.2%	※Ⅳ	C	100%

		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている中学生	86.0%	※3	85.5%	86.4%	※IV	C	100%
		体育の授業以外に運動やスポーツを週3日以上する小学生	60.7%	※3	65.6%	62.9%	※IV	B	75%
		体育の授業以外に運動やスポーツを週3日以上する中学生	72.1%	※3	74.7%	75.9%	※IV	B	80%
		適正体重の小学生（男子） ※ローレル指数で「標準」	36.8%	※3	47.2%	35.7%	※IV	C	40%
		適正体重の小学生（女子） ※ローレル指数で「標準」	30.5%	※3	41.6%	45.5%	※IV	A	35%
		適正体重の中学生（男子） ※ローレル指数で「標準」	34.0%	※3	28.2%	43.2%	※IV	A	40%
		適正体重の中学生（女子） ※ローレル指数で「標準」	42.6%	※3	43.5%	47.8%	※IV	B	50%
		夜10時までに寝る小学5年生	30.1%	※3	37.0%	33.3%	※IV	B	35%
		夜11時までに寝る中学2年生	17.7%	※3	22.0%	25.5%	※IV	A	20%
(4) 次世代の こころの 健康		学校生活を楽しんでいる小学生	83.2%	※3	82.0%	83.2%	※IV	C	100%
		学校生活を楽しんでいる中学生	81.5%	※3	82.8%	87.4%	※IV	B	100%
		ストレスを感じる小学生	57.5%	※3	67.3%	55.9%	※IV	B	50%以下
		ストレスを感じる中学生	66.4%	※3	74.3%	61.1%	※IV	B	60%以下
		悩みを相談できる相手がいる小学生	87.1%	※3	88.8%	90.7%	※IV	B	100%
		悩みを相談できる相手がいる中学生	84.5%	※3	85.1%	81.9%	※IV	D	100%

※1 妊娠届出時アンケート（平成25年度）

※2 保健推進課

※3 健康づくりに関するアンケート（平成26年）

※I 妊娠届出時アンケート（令和4年度）

※II 保健推進課（令和4年度）

※III 人口動態統計（令和元年）

※IV 健康づくりに関するアンケート（令和5年）

【評価の概要】

（1）妊産婦や乳幼児の成長を見守る保健対策

- ・「乳幼児健康診査の受診率（10か月児健診）」が減少している一方、「乳幼児健康診査の受診率（3歳児健診）」が増加しています。
- ・「妊娠11週までに母子健康手帳の交付を受けている妊婦」の割合、「乳幼児健康診査の受診率（3か月児健診、1歳8か月児健診）」「予防接種の接種率（BCG）」は一定の水準を保っています。

（2）妊娠前や妊娠期の生活習慣

- ・「毎日朝食を食べている妊婦」の割合は増加しています。
- ・「バランスの良い食事を心がけている妊婦」の割合が増加し目標を達成しています。
- ・「妊婦の喫煙率」「妊婦の飲酒率」が減少傾向であるものの、目標値の0%を達成できていません。

(3) 子どもの健康な生活習慣（栄養・食生活、運動、休養）

① 乳幼児

- ・ 「週に3日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている子ども」の割合が増加している一方、「食事のバランスをよく考える親」の割合が減少しています。
- ・ 「1日2時間以上外遊びをしている子ども」の割合が減少しています。
- ・ 「夜9時までに寝る子ども」「朝7時までに起きる子ども」の割合が増加し目標を達成しています。

② 小・中学生

- ・ 「週3日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている小学生」「週3日以上、家族そろって朝食または夕食を食べている中学生」の割合が増加しています。
- ・ 「体育の授業以外に運動やスポーツを週3日以上する小学生」「体育の授業以外に運動やスポーツを週3日以上する中学生」の割合が増加しています。
- ・ 適正体重について、小学生（女子）・中学生（男子）で増加し目標を達成しています。
- ・ 「夜10時までに寝る小学5年生」の割合が増加しています。
- ・ 「夜11時までに寝る中学2年生」の割合が増加し目標を達成しています。

(4) 次世代のこころの健康の数値目標に係る現状の評価と今後の方向性

- ・ 「学校生活を楽しいと思う中学生」の割合が増加しています。
- ・ 「ストレスを感じる小学生」「ストレスを感じる中学生」の割合が減少しています。
- ・ 「悩みを相談できる相手がいる小学生」の割合が増加し、「悩みを相談できる相手がいる中学生」が減少しています。